リチウムイオン蓄電池による火災に注意

リチウムイオン蓄電池が起因する火災が全国的に多発し、当管内でも発生しています。

【火災事例】

- ・衝撃が加わった (落下等)、浸水したモバイルバッテリーを使用したところ発火し火災になった。
- ・モバイルバッテリーが暖房器具の温風により加熱されたことで火災になった。 【対策】
- ・破損変形、膨張などの異常のある場合は使用しない。
- ・リチウムイオン蓄電池は暑くなる場所に放置しない。

※リチウムイオン蓄電池は便利なものですが特性を把握し、適切に使用することが大切です。また廃棄されたモバイルバッテリー等(電子タバコなどを含む。)がゴミ収集車や廃棄物処理施設内で圧縮され、破損したため火災となることがあります。

※リチウムイオン蓄電池を廃棄する際は市町の分別ルールに従って廃棄してください。

十日町市

https://www.city.tokamachi.lg.jp/material/files/group/1/r4_umetate.pdf

津南町

https://www.town.tsunan.niigata.jp/uploaded/attachment/5570.pdf



発火したリチウムイオン蓄電池